

浜岡原子力発電所 5号機 主蒸気止め弁の点検結果について (志賀 2号機で見られた金属粒の有無の確認)

平成 18年 11月 20日

北陸電力(株)志賀原子力発電所 2号機の高圧タービン内部で、主蒸気止め弁(1)の製造時に用いたショットブラスト(2)の金属粒が発見されたことをうけ、製造メーカーと仕様が同一である浜岡原子力発電所 5号機の主蒸気止め弁について、念のため分解点検を実施することとしました。

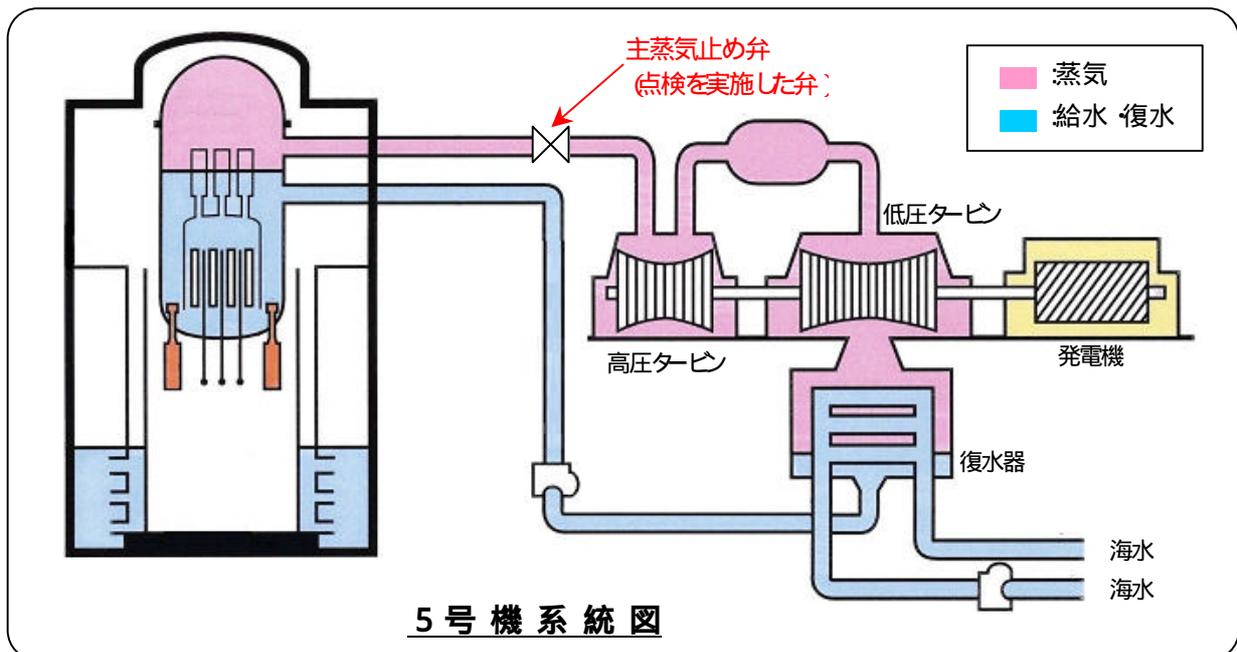
(平成 18年 11月 7日お知らせ済み)

主蒸気止め弁(全 4弁)を分解し、内部に製造時に用いたショットブラストの金属粒の残留がないことを 11月 17日に確認しました。

【志賀原子力発電所 2号機で確認された事象】

主蒸気止め弁の製造時に用いたショットブラストの金属粒が弁内部に残留していた(弁を分解点検したところ、弁内部の隙間に金属粒があった)ため、運転に伴う蒸気の流れにより高圧タービン内部に流入した。

(平成 18年 10月 12日 北陸電力プレス発表資料より)



- 1 主蒸気止め弁は、タービンへ流入する蒸気を遮断する弁です。
- 2 ショットブラストは、多数の金属粒を高速で金属材料に衝突させ、その材料表面を研磨する方法です。

以上